

資料編

1 施策の進捗状況調査結果

【評価基準】
A: 定常的实施
B: 一部着手
C: 未着手
F: 完了

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課
							実績	評価	予定・進捗	
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	市域全体での自然環境調査の検討・実施	調査方法等の検討・調査実施	-	自然環境調査部会による調査を実施した。	A	自然環境調査部会による調査を実施する。	環境課
					景観上保全すべき場所の選定（「あきる野百景」の選定）	-		F		環境課
					あきる野版RD種の選定	-	あきる野版RD種の選定には至っていない。	C	自然環境調査を実施し、あきる野版RD種の選定を検討する。	環境課
			自然の保全・管理活動の実践	適正評価及びモデル地区等の選定	-	モデル地区等の選定には至っていない。	C	自然環境調査の動向を見ながら、モデル地区の選定を検討する。	環境課	
				モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	-	モデル地区ではないが、東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査の検討を行った。	B	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施する。独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施する。	環境課	
		一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価（評価の指針等の作成、実態評価）		継続	環境委員会は設置したが、具体的な検討には至っていない。	B	実施予定なし	環境課
				実効性の高い保全制度の検討・確立	短期	郷土の恵みの森構想を策定し、森林については、健全な環境の保全と地域活性化を進めていくこととした。	A	A	郷土の恵みの森構想に基づき、事業を進める。	環境課
					短期	郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会が昔道や尾根道の補修、景観の整備を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林サポートレンジャーあきる野等が整備事業等を支援した。平成22年度においては、昔道や尾根道の補修事業を5地区、景観整備事業を3地区で実施した。	A		平成22年度と同様、町内会・自治会が昔道や尾根道の補修、景観の整備を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林サポートレンジャーあきる野等が整備事業等を支援する。	環境の森推進室

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
					実績	評価		予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	短中期	環境の森推進室において、郷土の恵みの森づくり事業基金を創設した。	A	A	環境の森推進室において、郷土の恵みの森づくり事業基金を進めていく。		環境課
					基金の有効活用を図るため、郷土の恵みの森づくり事業基金を創設し、ふるさとの緑地保全基金から振替を行った。	A		実施予定なし		財政課
				中期	実施していない	C	A	実施予定なし		環境課
					町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポーターレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成22年度においては、市職員のみを隊員（平成23年3月末現在53人）とし、尾根道等の補修7回、景観整備8回の活動で、延べ179人が参加した。	A		町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備を更に進めるため、森づくりに関心のある方（市民・企業・団体）を募集し、「森林サポーターレンジャーあきる野」の活動を充実させる。		環境の森推進室
				長期	実施していない	C	A	実施予定なし		環境課
					緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布した。	A		緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布する。		農林課
					平成22年3月に策定した「郷土の恵みの森構想」に基づく各種事業等を地域と協働して実施していくため、本構想の説明会を14回行い、延べ212人の参加を得た。さらに、平成23年3月には、本構想に基づく施策を具体化し、郷土の恵みの森づくり事業の充実を図るため、「郷土の恵みの森づくり基本計画」を策定しているが、その策定に当たり、12町内会・自治会と協議を行った。また、里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行う「菅生若宮子ども体験の森事業」を地元住民との協働により実施するため、地元町内会長や青年会議所、NPO法人代表者により組織する実行委員会に業務委託している。その他、秋川消防署レスキュー隊や五日市警察署山岳警備隊、東京都レンジャーや林野庁、市自然環境調査部会との懇談会や交流会等の実施により連携強化を図った。	A		平成22年度と同様、里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行う「菅生若宮子ども体験の森事業」を地元住民との協働により推進するとともに、秋川消防署レスキュー隊や五日市警察署山岳警備隊、東京都レンジャーなどとの連携強化を図る。また、自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子レンジャーとして認定し、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行う。さらに、地域環境の特性を損なうことなく、体験学習の場を整備し、生物多様性の保全管理を行うため、産学官が連携した取組を進める。		環境の森推進室

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度	担当課				
						実績		評価	予定・進捗					
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	市民の声がかけ る、環境に配慮した まちづくりの実現	開発計画への市民参加の仕組み化	中期	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集の実施。		A	実施予定なし	都市計画課				
				景観形成モデル地区の設定	中期	実施していない		C	C	実施予定なし	都市計画課			
					実施していない		C	実施予定なし		区画整理推進室				
				自然環境に適合した既存計画・用途区域等の見直し（都市計画線引き事業）	継続	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。 なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。		B	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。 なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	都市計画課				
				環境配慮型まちづくり方針・指針の策定（まちづくり条例の制定検討）	中期（長期）	実施していない		C	C	実施予定なし	都市計画課			
						実施していない		C		実施予定なし	区画整理推進室			
				地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	継続	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行った。		A	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行う。	都市計画課			
						実施していない		C		実施予定なし	区画整理推進室			
				骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林の環境面からの機能評価	短中期	森林計画の整合性を図り、地域森林計画を樹立		A	A	森林法改正に伴い、地域森林計画の変更を予定	農林課
									実施していない		C		実施予定なし	環境課
	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（モデル地区による「美林の里」づくり）	継続	戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）				A	A	戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を計画	農林課				
			実施していない				C		実施予定なし	環境課				
	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	中期	地域森林計画の樹立、各種協議会による保全活動の推進を実施。				A	森林法改正に伴う森林計画の見直しを実施	農林課					
	森林資源の需要の喚起（新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用）	短中期	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内整備を実施した。				A	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施予定	農林課					
	市民参加の森づくり事業の推進（ボランティアの育成・活用の仕組みづくり）	中期	環境の森推進室の設置による森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各自治会と合同で整備事業を実施(17回)				A	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各自治会と合同で整備事業を実施予定	農林課					

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
						実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	活動資金の確保 （緑地保全基金の活用の検討（再掲））	短期	実施していない	C	A	実施予定なし	農林課	
						実施していない	C		実施予定なし	環境課	
						基金の有効活用を図るため、郷土の恵みの森づくり事業基金を創設し、ふるさとの緑地保全基金から振替を行った。	A		森づくり事業を推進するため、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用する。	財政課	
				森林保全・活用のための整備の推進	継続	鍾乳洞沢線、南沢林道線、伝名沢線の工事を実施した。	A	鍾乳洞沢線、南沢林道線、盆堀林道工事を実施予定	農林課		
		一般	里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	短中期	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野により調査を実施した。また、横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。	B	平成22年度と同様である。	環境課		
				評価と利活用方針の検討	短中期	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果については、今後の保全策検討における資料とする。また、横沢入については都により検討されている。	B	平成22年度と同様である。	環境課		
				モデル地区での保全管理活動の実践	中期	モデル地区が選定されていないため、実施していない。なお、横沢入では、各種団体を通じて保全管理活動が実施されている。	C	まずは、自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査の動向を見ながら、モデル地区の選定を検討する。	環境課		
				各地域での保全策の検討	中期	実施してない。なお、横沢入では都により管理計画が検討されている。	C	B	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果に基づき検討を行う。なお、都では横沢入での管理計画の検討を進める。	環境課	
						横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施	A		横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施予定	農林課	
				緑地保全基金の活用（再掲）	長期	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課	
						基金の有効活用を図るため、郷土の恵みの森づくり事業基金を創設し、ふるさとの緑地保全基金から振替を行った。	A		森づくり事業を推進するため、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用する。	財政課	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度	担当課	
						実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	ボランティアの育成・活用（再掲）	中期	横沢入ではボランティアの活用により里山保全が図られている。	B	A	平成22年度と同様である。	環境課	
						実施していない	B		協力団体との協議を進めていく	商工観光課	
						町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポーターレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成22年度においては、市職員のみを隊員（平成23年3月末現在53人）とし、尾根道等の補修7回、景観整備8回の活動で、延べ179人が参加した。	A		町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備を更に進めるため、森づくりに関心のある方（市民・企業・団体）を募集し、「森林サポーターレンジャーあきる野」の活動を充実させる。	教育委員会ほか（環境の森推進室）	
				学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	中期	学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。	B	A	平成22年度と同様である。	環境課	
		「郷土の恵みの森」構想を受けて、近隣小・中学校で体験活動に参加した。また、栗原市交流事業では、地元自治会、森林レンジャー協力の下、友好の植樹祭と称して、栗原市の木（ヤマボウシ）を植えた。	A			「郷土の恵みの森」構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加していく。	指導室				
		一般	秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	短中期	・遊休農地を認定農業者等に利用集積した。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 ・獣害対策として、追い払い等実施した。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導も行った。 ・農地の散策や収穫体験を実施した。	A	・遊休農地の調査を実施する。 ・獣害被害の防止対策の実施 ・秋川ファーマーズセンターの一部改修 ・畜舎の衛生管理を図る。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発していく。	農林課		
				農地の環境面からの機能のPR	短中期	実施していない			C	実施予定なし	環境課
				中山間地域ふれあい農業の検討	中期	実施していない			C	農地の利用集積による農産物の生産・販売の促進を進める。	農林課
				あきる野産の農産物の利用拡大の検討	中期	地元産の野菜を保育園給食に使用した。			B	地産地消型農業や食育の推進を図る。	農林課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
						実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	秋留台地一帯の農地の保全と活用	遊休農地の活用方策の検討・推進 （学校農園、市民農園など）	中期	遊休農地の調査に基づき、一覧図を作成した。また、地主に対しての意向調査を行った。		A	A	認定農業者に対して、農地の利用集積を図る。	農林課
						総合的な学習の時間等を通して、農地を借りて農業体験を実施した。		A		前年同様に実施していく。	指導室
				人材育成と活用の仕組みづくり （農業委員会との連携・後継者の育成支援）	中期	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図った。		A		認定農業者や意欲ある農業者の支援を行う。	農林課
		一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	短中期	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。		A		平成22年度と同様である。	環境課
				秋川・平井川流域における環境保全の推進	短中期	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。		A	A	平成22年度と同様である。	環境課
						実施していない		C		実施予定なし	生涯学習推進課
				公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	継続	戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）		A	A	スギ・ヒノキを伐採し、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る予定	農林課
						実施していない		C		実施予定なし	環境課
				湧水の保全 （湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進）	継続	環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図った。		A	A	平成22年度と同様である。	環境課
						開発指導要綱に基づき、雨水浸透を指導している。		A		継続	都市計画課
				親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	継続	実施していない		C	B	実施予定なし	建設課
								F			区画整理推進室
				崖線地区の保全 （市街化調整区域への指定変更、公有地化）	継続	保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行った。		A	A	平成22年度と同様である。	環境課
						線引き変更の検討		C		線引き変更の検討	都市計画課
				市民意識の啓発	短中期	清流保全を呼びかける看板については設置済みである。また、清流保全協力員によるパトロールを実施している。		A		平成22年度と同様である。	環境課
				モデル地区での水質浄化活動	短中期	実施していない		C		実施予定なし	環境課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
						実績		評価	予定・進捗		
自然環境	骨格を成す5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	短中期	実施していない	C	C	実施予定なし	生涯学習推進課	
						実施していない	C		自然環境調査の進捗に合わせ、検討する。	環境課	
				財源の確保	短期	実施していない	C	C	実施予定なし	生涯学習推進課	
						実施していない	C		実施予定なし	環境課	
				文化財の指定、開発の抑制	中期	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。	生涯学習推進課	
						実施していない	C		実施予定なし	都市計画課ほか	
				郷土学習の支援（多様な連携づくり）	継続	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行った。	A	A	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行う。	生涯学習推進課	
						実施していない	C		自然環境調査の進捗に合わせ、検討する。	環境課	
				都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	継続	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巣石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図った。また、植物や地形などの特質を紹介する写真展を開催すると共に、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行った。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物や湧水等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A	A	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巣石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図る。また、ミエソウの化石複製の展示を行うと共にその紹介パンフレットを発行する。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物や地形の特質等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。	生涯学習推進課	
						自然環境調査において、地質・地形に関する調査を実施した。	B		自然環境調査において、引き続き、地質・地形に関する調査を実施し、市民向けパンフレットを作成する。	環境課	
				文化財講座等の開催（市民力レッジ、市民解説員の活動推進）	継続	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A	A	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習推進課	
						市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を42回実施	A		市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を44回実施（予定含む）	公民館	

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度			平成23年度	担当課	
							実績		評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	公害の防止	事業所排水対策	（排水水質調査・是正指導）	-	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施した結果、環境基準を超過した事業所はなかった。	A		水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施する。	環境課	
				生活排水対策	下水道への接続啓発・普及	-	広報、接続依頼通知の発送、戸別訪問によるチラシの配布を行った。	A	A	平成22年度と同様である。	下水道課	
						実施していない	C	実施予定なし		環境課		
					下水道の整備	-	下水道の整備面積5ヘクタールを実施した。	A	A	下水道の整備面積約5ヘクタールを実施する予定である。	下水道課	
						実施していない	C	実施予定なし		環境課		
				生活排水対策	合併処理浄化槽の設置補助（補助金）	-	実施していない	C	A	A	実施予定なし	下水道課
						合併処理浄化槽設置補助件数：10件 既存単独浄化槽撤去補助件数：1基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。	A	制度等については、前年度と同様である。 補助件数として、設置補助基数：16基（目安） 単独浄化槽撤去補助：1基（目安）			環境課	
					下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	-	実施していない	C			C	実施予定なし
				実施していない		C	実施予定なし	環境課				
		一般	公害の防止	環境に関する情報の収集・公開（広報等）		継続	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A		平成22年度と同様である。	環境課	
				環境関連講座の開催		継続	公民館と共催で講演会を実施した。	B		実施予定なし	環境課	
				環境調査の実施（項目等の見直し・充実）		継続	これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A		平成22年度と同様である。	環境課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度	担当課
					実績	評価		予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	自動車による大気汚染の低減 (自動車利用の抑制、エコドライブの推奨)	短期	実施していない	C	A	実施予定なし	地域防災課
					市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進した。 産業祭エココーナーにおいて、エコドライブに関するアンケートを実施するとともに、啓発パンフレットを配布。 エコドライブ講習会（実技：参加者：6人・座学：参加者125人）を実施した。 月末の給油時にタイヤの空気圧を確認するよう呼びかけを行った。	A		市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。 月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。 エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付する。 エコドライブ講習会を実施する。	環境課
					CO2排出及び大気汚染を促す本庁舎の庁用自動車の燃料について、平成21年度比で1,483ℓ（4.8%）の削減が図られた。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO2の排出量の削減を推進する。	総務課
			公共交通機関等の利用促進 (駐輪場の整備、るのバス等の充実)	長期	循環バス等地域公共交通検討委員会で、循環バス、過疎バスその他の交通機関の諸問題について総合的に検討を重ね、一定の結論を得たので報告書を作成した。	A	A	今年度循環バスの買い代えに伴い、環境にやさしい車の導入を検討する。	地域防災課
					実施していない	C		実施予定なし	環境課
					実施していない	C		実施予定なし	総務課
			低公害車の率先導入	継続	「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している。コミュニティバスに関しては、平成22年度は導入していない。	A	A	平成22年度と同様である。	地域防災課
					実施していない	C		実施予定なし	環境課
					低公害車2台の導入	A		実施予定なし	総務課
			低公害車の普及・啓発（情報提供）	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	地域防災課
					東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。	A		平成22年度と同様である。	環境課
					実施していない	C		実施予定なし	総務課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課
						実績	評価	予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	粉じん防止対策の充実	継続	粉じん苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課
				悪臭防止対策の充実	継続	悪臭苦情件数：8件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課
				家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	継続	水質汚濁（排水に係るもの）苦情件数：1件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	A	合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求める。	環境課
				工場・事業場からの騒音防止対策の充実	短期	工場・事業場に関する騒音苦情件数：9件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課
				道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	短期	実施していない	C	未定	建設課
				近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	短期	近接騒音苦情件数：10件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行っている。	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行う。	環境課
				航空騒音対策の実施	継続	苦情件数：3件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要請している。 未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請している。	A	苦情件数：0件（これまで） 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。また、未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。	企画政策課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課	
						実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	継続	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	平成22年度と同様である。	環境課	
				有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	継続	有害化学物質使用届出件数：12件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	有害化学物質使用届出件数：12件（目安） 平成22年度と同様である。	環境課	
				振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	継続	振動苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課	
				土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	継続	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件（目安） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。	環境課	
				家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	継続	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支出	A	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する支援	農林課	
				地下水保全対策の充実（揚水規制）	継続	地下水揚水量報告書提出件数：18件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めている。	A	A	地下水揚水量報告書提出件数：18件（目安） 平成22年度と同様である。	環境課
						かん水施設管理組合が維持管理している。	A		かん水施設管理組合が維持管理をしていく。	農林課
光害防止対策の研究	継続	光害に対する苦情件数：0件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、都のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A	光害に対する苦情件数：0件（目安） 平成22年度と同様である	環境課					

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課
							実績	評価	予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	循環型社会構築の推進	廃棄物減量等推進審議会の開催	-	平成22年度については開催なし	A	必要に応じて開催する。	環境課	
				「ごみ会議」の運営・推進	-	○全体会議開催10回 ・「へらすぞう」の発行について ・落葉の堆肥化わくの取組について ・リサイクルフェアへの参加について ・ダンボスト講習会の開催等について ・市内大型店舗のごみ処理状況調査について ・「ごみ会議」の運営について ・視察について など ○情報誌「へらすぞう」編集会議10回開催（2号発行） ○生ごみ処理講習会4回開催 ○落葉堆肥化わく2基設置	A	廃棄物減量等推進員に委嘱し、平成22年度と同様に活動する。	環境課	
				ごみ減量・リサイクル意識の啓発（情報誌「へらすぞう」の発行等）	-	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年2回実施。フリママーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ブース展示を実施。情報誌「へらすぞう」発行 2回	A	平成22年度と同様である。	環境課	
		一般	循環型社会の構築	グリーン購入の推進（考え方や商品等の紹介・PR）	短期	実施していない	C	検討する。	環境課	
				省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提供・意識啓発）	短期	リサイクルフェア等の機会に啓発を実施	A	方策を検討する。	環境課	
				エコショップ認定制度の検討	中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	商工観光課
				リサイクルフェアの実施	継続	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年2回実施。フリママーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ブース展示等を実施	A	平成22年度と同様である。	環境課	
				廃食油石けんづくりの普及	継続	廃食油を利用した石けんづくりは、現在のところ3団体（年間9回）が実施しており、秋のリサイクルフェアでは、来場者に配布し、普及を図っている。	A	平成22年度と同様である。	環境課	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課
						実績	評価	予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	循環型社会の構築	生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	継続	生ごみ堆肥化処理機器購入費の補助及びEM菌バケツ貸与、段ボール方式生ごみ処理講習会の実施 コンポスト 23基 EM菌バケツ104世帯 206個	A	平成22年度と同様である。	環境課
				省資源型経営の推奨（国や都への働きかけ）	長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				ごみの戸別収集・有料化	継続	平成16年4月よりごみの減量、分別の徹底を図り、排出者責任を明確にするため実施。前年比1.1%の減量	A	平成22年度と同様である	環境課
				資源集団回収の実施	継続	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 105団体 回収量2,080トン	A	平成22年度と同様である。	環境課
				ペットボトル等拠点回収実施	継続	毎週2回拠点数回収する。 回収箇所 113箇所 回収日数 104日 回収量 143トン	A	平成22年度と同様である。	環境課
				新たなリサイクルシステムの検討	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				落ち葉・剪定枝等のリサイクル方法の検討	長期	落葉堆肥化わくの設置 2箇所	A	平成22年度と同様である。	環境課
				環境低負荷型の収集の実現 (効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化)	継続	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	平成22年度と同様である。	環境課
				ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 (ダイオキシン類の発生抑制等)	継続	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の改善をしている。	A	平成22年度と同様である。	環境課
				清掃工場の適正管理	継続	市のごみは、西秋川衛生組合の処理場で全て処理しているが、環境基準に対応するよう施設の改善をしている。	A	平成22年度と同様である。	環境課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課		
					実績	評価	予定・進捗			
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	地元野菜の普及・活用（食育）	施設園芸（温室等）化	-	要望調査を実施した。 3直売所の農産物売上調査	A	調査結果を踏まえて、施設の建設をしていく。	農林課	
				学校給食等への供給検討・実施	-	農林課としての地元野菜の試験的導入は、平成21年度に終了している。	B	学校給食に地元野菜を供給するため、給食センター及びファーマーズセンターと調整会議を行う。	農林課	
					-	あきる野産の野菜2品（のらぼう、こんにゃく）を学校給食で供給した。	B		学校給食課	
			農業の振興・支援	後継者の育成支援（助成等）	-	補助金の支出 横浜検疫所を視察 農業委員との意見交換	A	補助金の支援と先進地視察	農林課	
				獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置）	-	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置） 被害報告111件、昨年度より57件減少 電気柵設置490m（養沢） 箱わなについては、53台を活用して実施	A	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置） 市民に対し、箱わな免許取得に伴う受験料の補助の実施	農林課	
			農地の適正管理と活用	生産緑地制度の推進・管理・追加指定（希望者把握・協議）	-	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をした。 定期的なパトロールは年1回実施。 10月に都市計画課と共同で現地調査を実施し、17人（22筆）に指導通知を発送。	A	A	農地パトロールを実施	農林課
						生産緑地の追加指定を行わなかった。	A		実施予定あり。6月末までの申請については平成23年度に都市計画決定を行う予定である。	都市計画課
				市民農園制度の活用・取組方策の検討（遊休農地の活用ほか） ・市民農園の希望把握・貸出	-	市民農園は、空き区画が残っており、新規開園は行わなかった。 市民農園利用者に農業講習会を年2回実施した。	A	・新たな市民農園の開設 ・市民農園利用者に農業講習会の実施	農林課	
		一般	公園の整備の推進	継続	区画整理事業や開発等により確保された公園の整備を実施した。	A	A	区画整理事業や開発等により公園を確保する。	管理課	
					平成22年度については実施していない	B		実施予定なし	建設課	
					平成22年度については実施していない	B		実施予定なし	区画整理推進室	

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
						実績	評価		予定・進捗		
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	市街地における緑の確保	緑化の推進（開発時の緑化指導）	継続	ふるさとの緑地保全条例に基づき緑化指導を行っている。	A	A	平成22年度と同様である。		環境課
						開発指導要綱に基づき指導を行なっている。	A		平成22年度と同様である。		都市計画課
				緑化の効果のPR	中期	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの種を配布した。		A	実施予定なし		環境課
				保存樹木・保存緑地の指定	継続	保存樹木の指定を推進する。		A	平成22年度と同様である。		環境課
				みどりの大切さのPR	継続	具体的な取組には至っていない。		C	平成22年度と同様である。		環境課
		重点	魅力ある川づくり	市民参加による清流の保全	-	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力のもと、河川パトロール、水質調査（COD）、ホタルの生息状況調査等を実施している。	A	A	平成22年度と同様である。		環境課
						実施していない		C	実施予定なし		商工観光課
					-	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査を行った。「ガサガサで生き物しらべ」8月22日 平井川（新開橋下流）参加者：市民41人、調査員10人	A	A	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査を行う。		環境課
						実施していない		C	実施予定なし		商工観光課
					-	実施していない		C	ホームページ以外の公表方法についても検討を行う。		環境課
						実施していない		C	実施予定なし		商工観光課
					-	河川管理者に依頼し、草刈り等を行った。（5カ所）	A	A	平成22年度と同様である。		環境課
						実施していない		C	実施予定なし		商工観光課
					-	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努めた。	A	A	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行う。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努める。		環境課
						観光協会が管理運営する3カ所のバーベキュー場は、直火を禁止し炉の使用を徹底している。	A		平成22年度と同様である。		商工観光課

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
							実績		評価	予定・進捗		
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	魅力ある川づくり	ホタルが棲める川づくり	ホタルが見られる場所の調査	-	清流保全協力員の協力のもと、ホタルの生息状況調査を実施した。	A	A	過去の調査結果をもとに追跡調査を実施する。また、自然環境調査においても、生息状況の確認を行う。	環境課	
						実施していない	C	実施予定なし		建設課		
				ホタルが棲める川づくり	ホタルが棲める川づくり（ホタルの保護など）	-	ホタルの里づくり事業として、ホタルの養殖施設の管理を1団体に委託しているとともに、ホタルの里づくり事業補助金を2地区に交付している。	A	A	平成22年度と同様である。補助金交付団体は3団体の予定。（本事業については、平成23年度から環境の森推進室に引き継ぐ）	環境課	
						実施していない	C	実施予定なし		建設課		
				子どもの水辺事業の推進		-	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課	
							実施していない	C		実施予定なし	建設課	
		平井川こどもの水辺協議会への参画・会議の開催支援と出席（1回 7月5日） ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A				平井川こどもの水辺協議会への参画・会議の開催支援と出席予定（1回 期日未定） ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	生涯学習推進課				
		一般	魅力ある川づくり	親水散策路の整備の推進（再掲）		継続	実施していない	C	B	実施予定なし	建設課	
							F			区画整理推進室		
				あきる野百景の選定	短中期			F	F		環境課	
						実施していない	C			都市計画課		
						実施していない	C			商工観光課		
				あきる野百景の保全・活用の検討	長期		あきる野百景リーフレットの配布を開始した。また、パネル展示会（7回実施）を開催した。健康課のふれあいウォークにおいても、あきる野百景リーフレットを活用し、コースを設定している。	A	A	商工観光課において、みんなで歩くあきる野めぐりのパンフレットを作成する予定である。	環境課	
							実施していない	C		実施予定なし	都市計画課	
							市民みんなで歩くあきる野百景めぐり策定会議を開催した。	B		みんなで歩くあきる野百景めぐりのパンフレットを作成する。	商工観光課	

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課	
							実績		評価	予定・進捗			
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	魅力ある川づくり	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）		継続	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び手摺や橋の修繕を行った。	A	A	倒木や雑草が繁茂しているなど、通行に支障をきたしている箇所について、除去等の対応を図る。		商工観光課	
							実施していない	C		実施予定なし		建設課	
								F				区画整理推進室	
				水と緑のマップの充実		長期	実施していない		C		実施予定なし		環境課
	美しく清潔なまちの形成	重点	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画）	（区画整理事業区域・線引き変更箇所）	-	○事業計画の策定 ○まちづくり協議会の開催（勉強会・視察研修含む計5回実施）	A	A	○都市計画決定 ○自然環境調査の実施 ○まちづくり協議会の開催（勉強会・視察研修含む計6回予定） ○地権者説明会の開催		区画整理推進室	
							平成22年度については実施していない	A		線引き変更に伴い検討する。		都市計画課	
				商店街の景観整備	（装飾灯の設置）	-	実施していない		C		装飾灯設置の予定なし		商工観光課
				歩きやすいみちづくり	（散策路、遊歩道の整備）	-	平成22年度については実施していない	A	A	実施予定なし		建設課	
							市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び手摺や橋の修繕を行った。	A		倒木や雑草が繁茂しているなど、通行に支障をきたしている箇所について、除去等の対応を図る。		商工観光課	
				良好な街並みづくり（地区計画の活用）		継続	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進めている。	A	A	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。		都市計画課	
							○事業計画の策定 ○まちづくり協議会の開催（勉強会・視察研修含む計5回実施）	A		地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。		区画整理推進室	
				景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）		超長期	実施していない	C	C	未定		都市計画課	
							実施していない	C		実施予定なし		環境課	
				市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）		a.短期 b.超長期	実施していない	C	C	実施予定なし		都市計画課	
							実施していない	C		実施予定なし		環境課	

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課	
							実績		評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	景観の整備	まちかど広場等の整備		継続	平成22年度については実施していない	B	B	○都市計画決定 ○自然環境調査の実施 ○まちづくり協議会の開催（勉強会・視察研修含む計6回予定） ○地権者説明会の開催		建設課	
							平成22年度については実施していない			C	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。		区画整理推進室
				買い物マップの作成		短期	実施していない		C		実施予定なし		商工観光課
				観光スポットのPR		中期	ホームページ、携帯サイトでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを行っている。		A		未定		商工観光課
				不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去		継続	886枚を撤去した。		A		実施予定なし		管理課
				電線の地中化の検討		短期	実施していない		C	C	実施予定なし		管理課
							実施していない		C		実施予定なし		区画整理推進室
		重点	景観の整備 清潔なまちづくり	たばこ・ごみのポイ捨て防止	意識啓発	-	産業祭でたばこのマナー向上の普及を行っている。		B		平成22年度と同様である。		環境課
				一斉清掃の実施	-	-	年2回、春、秋に実施 春14,828人参加　33.27トン収集 秋15,526人参加　30.45トン収集		A		平成22年度と同様である。		環境課
				ボランティア活動の推進	（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収）	-	配布箇所　11施設 配布枚数 ・可燃大　1,471組 ・可燃小　346組 ・不燃大　598組 ・不燃小　280組		A		平成22年度と同様である。		環境課
		一般	清潔なまちづくり	ポイ捨て防止条例の研究		中期	ポイ捨て防止条例について、他市の取組の情報収集及び研究を行った。		F				環境課
				不法投棄防止対策の充実		短期	あき地等への不法投棄防止対策として、適正な管理を周知した。		A				平成22年度と同様である。
				ごみ会議の開催		継続	全体会議を10回開催し、ごみ減量・資源化の方策を検討した。その他、情報誌「へらすぞう」の発行や、生ごみ減量・堆肥化講習会、落ち葉堆肥化プロジェクトを行った。		A		平成22年度と同様である。		環境課
				道路・公園・公共建物等の適正管理の実施		継続	従来どおりの管理を実施		A	A	従来どおり管理を実施		建設課
							従来どおりの管理を実施		A		アダプト制度を導入し、市民団体等による管理を実施する。		管理課
							一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する人にボランティア袋の配布		A		平成22年度と同様である。		環境課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度	担当課
						実績		評価	予定・進捗	
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	空き地の適正管理	継続	あき地の適正管理に対する苦情件数：39件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。		A	あき地の適正管理に対する苦情件数：20件（目安） 平成22年度と同様である。	環境課
				ペットの飼い方等の意識啓発	継続	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。		A	平成22年度と同様である。	健康課
				苦情対策	継続	ペットに関する苦情件数：2件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し、対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能は範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	A	ペットに関する苦情件数：1件（目安） 平成22年度と同様である。	環境課
						（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A		平成22年度と同様である。	健康課
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	省エネ教育の推進	-	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課
						環境を大事にする心情を育てる授業を14回行った。また、前田小では、地域の協力を賜りながら「太陽光発電設備」を設置し、省エネ教育に取り組んだ。	A		環境教育の授業を全校で取り組む。	指導室
				事業所への働きかけ	-	商工会に対し、東京都が実施する省エネ診断や講習会の開催の呼びかけを行った。	B	B	商工会等を通じて、省エネの推進の働きかけを行う。	環境課
						実施していない	C		実施予定なし	指導室
				制度の検討	-	-	国や都の制度等について情報収集を行った。	A	国や都の制度等について情報を収集し、検討する。	環境課
		一般	市全域のエネルギー使用量の把握	短期	オール東京62市区町村共同事業「温暖化防止プロジェクト」において、温室効果ガス排出量（推計）算出を行った。 （H2O 299千トン-CO2）	A	オール東京62市区町村共同事業「温暖化防止プロジェクト」において、温室効果ガス排出量（推計）算出を行う。	環境課		

分野	方針	施策		関連する施策・事業		実施時期	平成22年度			平成23年度	担当課	
							実績		評価	予定・進捗		
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	エコドライブの普及	各種支援制度の利用等の検討	-	・エコドライブ実技講習会：平成23年1月24日実施（午前・午後各1回、拝島自動車教習所、参加者：環境委員3・事業者1・市職員2） ・エコドライブ座学講習会：平成23年2月3日実施（2回、庁舎会議室、参加者：市職員124・環境委員1）	A	エコドライブ講習会を実施する。		環境課		
				啓発の実施	-	産業祭における環境展及びエコフェアにおいて、エコドライブに関するアンケート調査を実施するとともに、環境家計簿やパンフレットの配布を行い、啓発を行った。 エコドライブ講習会を実施した2月以降、庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認を行うよう呼びかけを行った。	A	アイドリングストップ装置を試験的に導入する。 庁用車にエコドライブ啓発ステッカーを掲出する。 エコドライブ講習会を実施する。 庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認の呼びかけを行う。		環境課		
			自転車利用の促進	アンケート調査の実施	-	平成19年度実施済み		F	F			環境課
						実施していない		C		実施予定なし		地域防災課
						実施していない		C		実施予定なし		管理課
				施設整備の実施	-	実施していない		C	B	実施予定なし		環境課
						実施していない		C		実施予定なし		地域防災課
						実施なし		B		実施予定なし		建設課
				自転車優遇方策の検討	-	実施していない		B	C	実施予定なし		環境課
						実施していない		C		実施予定なし		地域防災課
						実施していない		C		実施予定なし		建設課
			「車に乗らない日」の普及・啓発				短期	実施していない		C	実施予定なし	
		一般	公共交通機関の利用促進	中期	実施していない		C	A	A	実施予定なし		環境課
					会議回数10回 ＪＲ五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、ＪＲ五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。特に平成２２年度は、計画停電による公共機関への影響を最小限とするよう、東日本旅客鉄道株式会社に要請行動を行っている。		A			ＪＲ五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、ＪＲ五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。		企画政策課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課	
						実績		評価	予定・進捗			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	自動車対策	自転車専用のインフラ整備	長期	実施していない		C	実施予定なし		建設課	
				エコドライブの実践	短期	産業祭における環境展で来場した市民対象にアンケート調査を行った結果、回答したほぼ全員がエコドライブについて何かしらの取組をしていた。		A	市において、アイドリングストップ装置を試験的に導入する。		環境課	
				低公害車の率先導入（再掲）	継続	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課		
						低公害車2台導入	A		導入予定なし	総務課		
				低公害車の普及・啓発（再掲）	継続	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図っている。		A	平成22年度と同様である。		環境課	
		燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギーステーションの設置研究ほか）	中期	実施していない	C	C	実施予定なし	環境課				
				情報収集に努める。	C		情報収集に努める。	企画政策課				
		重点	電力使用量の削減	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	-	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽光発電システムと太陽熱利用機器の紹介を行った。また、産業祭における環境展において省エネの啓発を行った。市ホームページにおいて、市民のエコ生活術の紹介を行った。		A	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽エネルギー利用機器の紹介を行う。また、産業祭における環境展において省エネの啓発を行う。		環境課
						セミナーの開催	-	実施していない		C	実施予定なし	
				省エネ型生活10か条の普及	-	-	産業祭における環境展において環境家計簿として普及・啓発を行った。		A	引き続き普及・啓発を図る。		環境課
				環境家計簿によるエネルギー管理	環境家計簿（家庭版ISO）等の普及	-	産業祭における環境展において普及・啓発を行った。		A	引き続き普及・啓発を図る。		環境課
					省エネモニター制度の実施	-	これまでのモニターに加え、新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録した。（省エネモニター登録数 継続者11＋補助金受給者44＝55世帯）		A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録する。また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックする。		環境課
				一般	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	短期	パンフレット等を設置し、周知を行った。また、太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 ・補助件数44件（太陽光23・太陽熱1・IHヒート12・IHジョーズ8）		A	パンフレット等を設置し、周知を行う。太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行う。東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。		環境課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度		平成23年度		担当課			
						実績	評価	予定・進捗					
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	電力使用量の削減	事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	短期		B	パンフレット等を設置し、周知を行う。 東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。		環境課			
				事業所のエネルギーマネジメントの普及	中期	実施していない	C	東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、事業所に対し、エネルギー使用状況の見直しを呼びかける。		環境課			
				中小事業所や商店に対する普及・啓発	中期	東京都が実施する省エネ診断や説明会の実施について、あきる野商工会に呼びかけを行った。	B	あきる野商工会を通じて呼びかけを行う。 東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。		環境課			
				公共施設での環境マネジメントシステムの認証取得拡大	長期	総務課において独自の環境マネジメントシステムによる取組（あきる野エコ活動）を実施した。	A	A	あきる野エコ活動の取組を進める。	環境課			
						公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、庁舎の電気使用料について、平成21年度比で1,483kwh（0.3%）の削減が図られた。	A		節電対策と併せ公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、より一層の削減を実施する。	総務課			
	新エネルギーの導入	重点	新エネルギー技術の活用	木質バイオマスの導入	温浴施設への導入	-			F			企画政策課	
					炭等の利用促進	-			—	—			企画政策課
									—				商工観光課
				普及啓発・環境教育の実施	-	温浴施設での見学受け入れ	本件については、商工観光課に引き継いでいる。	F	A			企画政策課	
							実施していない	C		実施予定なし		環境課	
							受入件数：20件 視察等に応じ対応を行った。	A		視察等の受け入れをする。		商工観光課	
					見学会、教育プログラムの実施	-	本件については、商工観光課に引き継いでいる。	F	C			企画政策課	
							実施していない	C		実施予定なし		環境課	
							実施していない	C		見学会等の開催を検討する。		商工観光課	
		一般		家庭での新エネルギーの導入促進	短期	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付した。	A		住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付する。		環境課		

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課		
						実績		評価	予定・進捗				
エネルギー環境	新エネルギーの導入	一般	新エネルギー技術の活用	事業所での新エネルギーの導入促進	短期	パンフレット等を設置し、周知を行った。		B	パンフレット等を設置し、周知を図る。		環境課		
				新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	短期	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を開催した。また、産業祭における環境展で、パンフレット配布を行った。また、定期的には、パンフレット等を設置し、周知を行った。		A	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を実施する。また、産業祭における環境展で、普及・啓発を行う。		環境課		
		一般	リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	短期	実施していない		C	実施予定なし		環境課		
				ごみ焼却余熱の利用	中期	実施していない	C	B	平成22年度と同様である。		環境課		
			職員の手洗い用の温水に利用している。			B	平成22年度と同様である。		西秋川衛生組合				
			一般	最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	中期	実施していない	C	C	実施予定なし		環境課	
		実施していない					C	実施予定なし		施設営繕課			
		実施していない					C	実施予定なし		契約管財課			
		森林・緑地の拡大によるCO ₂ の吸収	一般	森林の保全	森林のCO ₂ 吸収量に関する普及・啓発	短中期	実施していない	C	A	A	実施予定なし		環境課
							みなとモデル二酸化炭素固定化認証制度を2月に締結し、森林のCO2吸収量に関する普及・啓発を実施	A			モデル二酸化炭素固定化認証制度を登録制度に向け整備		農林課
	実施していない						C	実施予定なし			指導室		
	森林等の適正管理・保全の促進（再掲）				継続	森林再生事業（間伐）を実施した。	A	A	森林再生事業（間伐）を実施する。		農林課		
						環境の森推進室において、郷土の恵みの森構想に基づき、事業を実施した。	A		環境の森推進室において、郷土の恵みの森構想に基づき、事業を実施する。		環境課		
	総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）				中期	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業の実施	A	A	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業の実施		農林課		
						実施していない	C		実施予定なし		商工観光課		
						環境の森推進室において、郷土の恵みの森づくり基本計画の策定を開始した。	B		環境の森推進室において、郷土の恵みの森づくり基本計画を策定する。		環境課		

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
						実績		評価	予定・進捗		
エネルギー環境	森林・緑地の拡大によるCO ₂ の吸収	一般	森林の保全	地域林業の活性化（再掲）	短中期	郷土の恵みの森事業による積極的支援の実施	A	A	郷土の恵みの森事業による積極的支援の実施		農林課
						実施していない	C		実施予定なし		商工観光課
						実施していない	C		実施予定なし		環境課
				材木生産の合理化とブランドイメージの向上	中期	みなとモデル二酸化炭素固定化認証制度を2月に締結し森林のCO2吸収量に関する普及・啓発を実施	A	A	多摩産材の積極的な採用に向けてのイベントなどPRの実施		農林課
						実施していない	C		実施予定なし		商工観光課
						実施していない	C		実施予定なし		環境課
				木材加工産業の育成	中期	東京都補助金の支援など	A	A	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援		農林課
						実施していない	C		実施予定なし		商工観光課
						実施していない	C		実施予定なし		環境課
		一般	緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	継続	実施なし	C	A	都市計画道路秋3・5・2号整備事業にて植栽を予定		建設課
						公園に30本植樹した。	A		公園に50本植樹予定		管理課
				家庭等での植樹の推進（再掲）	中期	実施していない	C	実施予定なし		環境課	
				グリーンリサイクル（落葉・剪定枝）の推進（再掲）	中期	公共事業で排出される落葉、剪定枝の一部は民間業者によりチップ、堆肥化されている。また、落葉堆肥化モデル事業（2カ所）を開始した。	B	継続実施		環境課	
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	情報の共有	「環境白書」の作成・公表	短期	平成21年度環境白書を発行するとともに、ホームページ等で公表した。		A	平成22年度環境白書を発行する。		環境課
				環境に関する情報の収集・公開	継続	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	A	平成22年度と同様である。		環境課
						環境に関する図書を168冊購入し、貸出しを行った。	A		環境に関する図書を120冊購入予定		図書館
				研究・活動実績等の発表の場づくり	中期	実施していない		C	実施予定なし		環境課
				環境情報サイトの立ち上げ	中期	実施していない		C	実施予定なし		環境課
				環境情報コーナー等の機能整備の検討	長期	実施していない		C	実施予定なし		環境課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	実施時期	平成22年度			平成23年度		担当課
					実績	評価		予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	環境セミナー・講座等の充実	継続	公民館事業「寿大学」と共催で古村作治氏を招き、地球環境講座を開催した。	B	A	実施予定なし		環境課
					6月を「CO2削減アクション月間」として定め、全小・中学生が1週間の行動をCO2削減チェックシートに記入し、CO2の削減に取り組んだ。	A		6月を「CO2削減アクション月間」として定め、全小・中学生にCO2削減チェックシートの記入を実施する。		指導室
					放課後子ども教室で親子自然観察会（7月17日 平井川）を実施。生涯学習コーディネーターの会で親子自然体験教室（8月21日小峰ビクターセンター）を実施。	A		放課後子ども教室で親子自然観察会（7月18日 平井川）を実施。生涯学習コーディネーターの会で親子自然体験教室（8月21日小峰ビクターセンター）を実施予定。		生涯学習推進課
			出前講座等の開催	中期	実施していない		C	実施予定なし		環境課
					実施していない			実施予定なし		指導室
					実施していない			実施予定なし		生涯学習推進課
			環境教育・環境学習の場の充実	中期	自然環境調査において観察会を実施した。	A	A	自然環境調査において観察会等を予定している。		環境課
					「CO2削減アクション月間」を通して、環境教育の充実に努めた。	A		地球環境の保全について考え、行動できるよう環境教育を推進する。		指導室
					実施していない	C		実施予定なし		生涯学習推進課
			地域の人材活用制度の構築	中期	実施していない		A	実施予定なし		環境課
					総合的学習の時間などで地域の人を講師に迎え、体験活動などを行い、自然に親しみ自然を大切にする心を育てた。	A		地域の方と連携して、農業体験、自然観察などを実施していく。		指導室
					実施していない	C		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。		生涯学習推進課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	実施時期	平成22年度		平成23年度	担当課
						実績	評価	予定・進捗	
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	環境パートナーシップの形成	協働・団体等のネットワーク化	短期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				市民・事業者・市の協働事業等の推進	短期	環境委員会として産業祭に環境展を出展した。 市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施した。 環境の森推進室が新設され、森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施した。	B	環境委員会として産業祭に環境展を出展する。 市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施する。 環境の森推進室が新設され、森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施する。	環境課
				問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	長期	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行った。	A	平成22年度と同様である。	環境課
		一般	様々な仕組みの検討	財源の確保の検討	中長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				ボランティアの活用の仕組みづくり	長期	自然環境調査をボランティアで実施した。	B	平成22年度と同様である。	環境課
				点検・評価への参加の充実	中期	平成21年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を発行した。	A	平成22年度と同様である。	環境課
				「（仮）あきる野市環境委員会」の設置	短期		F		環境課
				家庭版・学校版！SO等の仕組み検討	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				事業者のマネジメントシステム導入支援	中期	実施していない	C	実施予定なし	環境課
				経済的手法の研究	長期	実施していない	C	実施予定なし	環境課